

女性の職業生活における活躍の推進に関する施策についての計画推進事業【山梨県甲府市】

地域の実情と課題

意識調査の結果、「職業を持っても、子どもができれば辞め、子どもが大きくなったら再び職業を持つのがよい」という意見が全国調査に比べ高かった。

甲府市内の企業は、従業員20人以下が90.4%と中小の規模が多くを占めており、山梨県内の女性の管理的職業従事者の状況においては、全国値を下回っている状況である。こうした中、女性就業者における、管理職において必要な知識や経験、判断力の養成や女性の管理職への意識を高めていく必要があることから、女性起業支援事業やキャリアアップセミナー、マルシェなどを開催し、女性の視点を活かした社会づくりを進めていく。

事業の特徴

女性ならではの視点や能力を活かし、自分のライフスタイルに合った働き方を見つけるとともに、女性たちの活躍の場を創出し、女性たちの可能性が広がる事業に取り組み、男女がともに働き続ける職場づくりや男女が支え合う家庭づくりを、目標に各種事業に取り組んでいる。

また、2021年に開催する日本女性会議を見据え、女性の活躍の場を創出し、多くの女性を応援する機運を高めていく。

事業の効果

コロナウイルスや台風の影響で、事業の中止・縮小が行われたが、事業の準備等を通じ、関連団体との連携が行えた。

また、実施した事業については、女性活躍推進事業について興味、関心をもってもらったと共に、参加者が女性のキャリアアップのヒントを得る機会となった。

目的・目標

女性活躍を取り巻く状況からの観点から、女性の起業においては、起業を準備中であるものの起業ができていない理由として、「資金調達」、「事業に必要な専門知識・ノウハウ不足」など、起業にあたり課題を抱える状況が多く見られることから、この促進や成功に向けた起業支援体制を構築していく。

「男女共同参画フォーラム」と「女性のマルシェ」については、開催にむけて計画どおり事業を進めていたが、社会状況を考慮し開催中止とした。

山梨県内の女性の管理的職業従事者の状況においては、全国値を下回っている状況である。こうした中、女性就業者における、管理職において必要な知識や経験、判断力の養成や女性の管理職への意識を高めていく必要があることから、キャリアアップセミナーを開催し、女性の視点を活かした社会づくりを進めていく。

連携団体

女性活躍に関わるNPO団体との連携と、周辺自治体へ事業告知や、相互の事業連携を図るとともに、メディア関係者に告知し、メディアを活用した広報を行った。

また山梨県や山梨県立男女参画推進センターと情報交換を行い、セミナー内容の差別化や成果についての共有化を図るよう配慮するとともに、チラシの配架を依頼した。

今後の課題

次年度以降も継続して事業を行うことを前提に、事業の参加者への研修スキームの構築を検討する。

また一部事業で、中止となったが、準備に係わった関連団体等と連携が行えたことから、引き続き令和3年度に甲府で開催される日本女性会議に繋げていきたい。

事業の概要

第3次こうふ男女共同参画プラン 甲府市女性の職業生活における活躍の推進に関する施策についての計画推進



①女性起業支援事業

起業したいが、やりたいことが定まっていない女性等を対象に、年間を通して各フェーズに応じたセミナーやワークショップ(実践)などの研修(5回)を開催し、自分のやりたいことを見つけ(認識し)、確実に起業等に繋げていく。

また、この結果を踏まえ、2021年に甲府市で開催が決定している日本女性会議までに、東京圏に比べ、新たなビジネスチャンスが少ない地方において、女性のやりたいを実現していくための研修スキームを構築する。



②「(仮称)女性活躍フェス」開催事業(中止)

女性が活躍できる場の提供や支援に取り組んでいく必要であることから、「甲府市男女共同参画フォーラム」と「女性達で創るマルシェ」を同時開催し、参加者が相互の活動等への理解を深め、多くの女性を応援する機運の醸成を図っていく。

さらに、あらゆる世代で活躍する女性、特に夢を叶え起業した女性や起業を目指している女性達を広く市民に知っていただくとともに、2021年に開催する日本女性会議を見据え、女性の活躍の場を創出し、多くの女性を応援する機運を高めていく。



③女性のためのキャリアアップセミナー事業(一部中止)

企業の枠を超え、女性のキャリア向上を図る機会を提供することを目的に、キャリアアップセミナーを開催した。

セミナーでは、「リーダーシップ発揮のコツ」をテーマに、講演とワークショップを実施した。参加女性が、実践に活かせるスキルを身に付けることにより、仕事の成果にも磨きをかけ、将来の活躍につながることを目的とする。また、実施を通じて、異業種間のネットワークが構築され、新たな視点や業務の手法等にもつながることを期待する。